

子どもたちを中心とした社会教育の活性化について

平成 27 年 2 月 20 日

鳥取市社会教育委員会・公民館運営審議会

鳥取市社会教育委員会・公民館運営審議会は、次の提言にもとづき、今後鳥取市教育委員会、青少年団体等において、青少年育成の取組の充実に努められるように要望する。

(1) 現状（資料 P 3～P 5 参照）

平成 25 年度全国学力・学習状況調査からみた鳥取市の子どもたちの現状は、自分で計画的に学習に取り組める、やらなくてはいけないことがきちんとできるが、地域との関わりでは、中学生になると急激に地域行事に参加しなくなる傾向がみられます。また、地域行事には参加しているものの、地域をよくするためにできることを考える子どもが少ないという傾向もみられます。

この現状から、各委員から鳥取の子どもたちに地域で活動する場が与えられておらず、自ら企画して事業を行う機会が少ないなどの意見がでました。

また、地域に子どもたちを受け入れる場と人が少ないのではないかという意見もでました。さらに子どもを中心とした事業を実施しようとしても少子化で事業が組めないという意見がでました。

(2) 課題

このような現状を踏まえ、課題として次のような点が挙げられました。

- ① 子どもたちの異年齢集団をいかに育成するか。
- ② 地域のノウハウをもつ人材を子どもたちとどう関わらせるか。
- ③ 中学生を中心とするジュニアリーダー養成のシステムをどのように作り上げていくか。
- ④ 地域の若い親たちをどのように地域に根付かせるか。
- ⑤ 学んだことを活かす場をどのように提供するか。

(3) 提言

このような課題の解決に向けて、今後つぎのような試みが重要と考えます。

○ 子ども会ジュニアリーダーの養成について

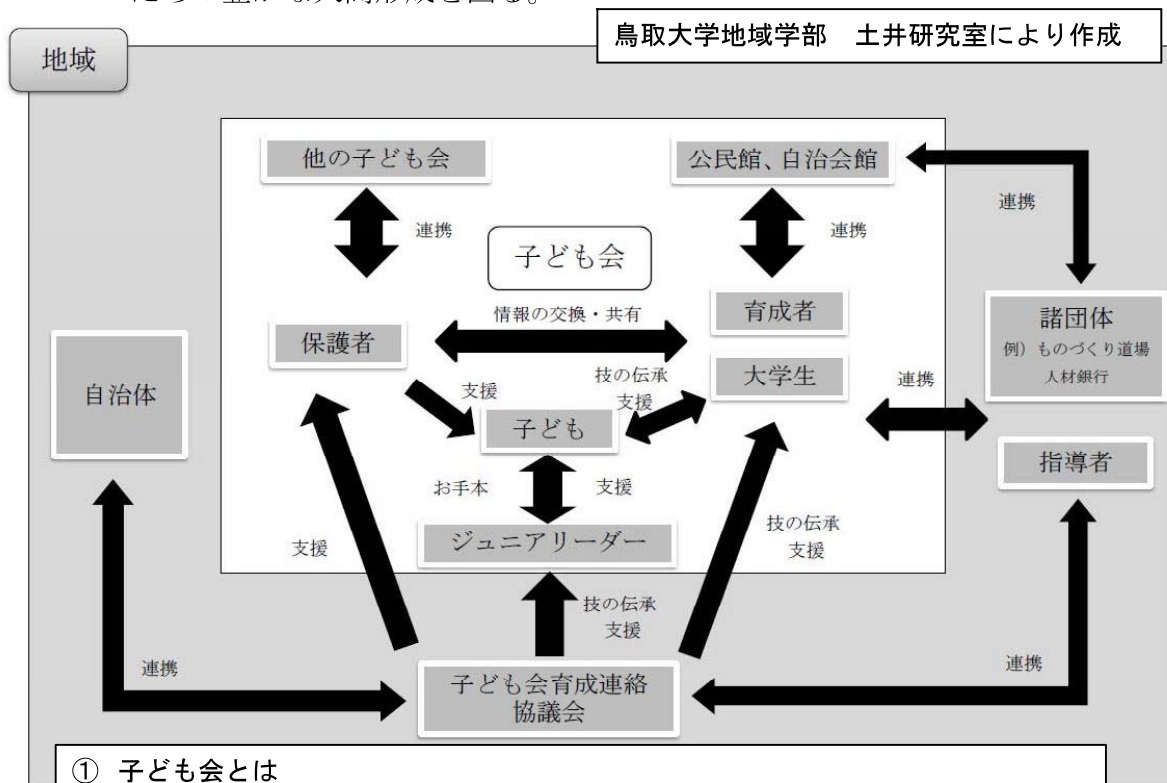
- ① 地域の実態に応じて小学校高学年から中学生をジュニアリーダーとし、地域の行事等で企画・運営に参画させる機会を与える。
- ② ジュニアリーダーとなる子どもの育成のため、ジュニアリーダー同士が交流し、互いに成長する機会を設ける。このような機会の創設に当たっては、行政はその支援を行う。
- ③ ジュニアリーダーを指導養成する役割を大学生等が担い、地域のジュニアリーダー養成のシステムを構築し、「縦のつながり」を地域に残していく。

○ 高齢者の持つ知識や技能の地域への還元システム（生涯学習で学んだ人が活躍できる場の提供）について

- ① 地域の人材（特に高齢者）がジュニアリーダー養成にかかわる場面を設定する。たとえば、土曜日等に公民館、学校等の公共施設で講座を開催する。
- ② さまざまな知識や技能を持つ高齢者を人材バンクに登録し、地域のニーズに応えるコーディネート機能（コーディネータ）を構築する。

○ 学校、地域、PTAの連携について

- ① 地域で培った企画力や「縦のつながり」を学校教育でも生かせるよう自治的な活動などを学校教育の場面でも意図的に設定することが必要である。
- ② 参加への働きかけと配慮のため地域と学校が行事等の情報をお互いに共有し、社会教育と学校教育の効果的な連絡を図る。
- ③ 活動が困難な子ども会等へ大学生等のボランティア派遣など行政的支援を行う。
- ④ 一番身近な地域であるPTAから子ども会の育成活動に積極的に参画し、地域に住む全ての大人にも特技指導者などとして協力してもらい、子どもたちの豊かな人間形成を図る。



① 子ども会とは

幼児（就学前3年）から高校3年生相当までを構成員とした、地域における異年齢集団により、子どもたちの発達に必要な様々な活動を通じて様々な体験が得られる集団です。

② 育成者とは

子どもを持つ親はもちろんのこと、地域に住む全ての大人のことです。

③ 育成会とは

育成者によって組織される、子ども会活動を援助するための組織です。

全国学力・学習状況調査から見た 鳥取市の子どもの現状

鳥取市教育委員会

鳥取市の子どもの学力

平成25年度全国学力・学習状況調査(教科正答率 %)

小学校6年生	鳥取市	鳥取県	全国	全国比
国語A(知識)	65.2	63.9	62.7	+2.5
国語B(活用)	52.5	50.4	49.4	+3.1
算数A(知識)	79.9	78.1	77.2	+2.7
算数B(活用)	61.8	60.2	58.4	+3.4

中学校3年生	鳥取市	鳥取県	全国	全国比
国語A(知識)	78.7	77.6	76.4	+2.3
国語B(活用)	69.4	68.6	67.4	+2.0
数学A(知識)	65.4	64.8	63.7	+1.7
数学B(活用)	44.0	43.0	41.5	+2.5

全国平均・県平均を上回る良好な結果

鳥取市の子どもの学習状況

平成25年度全国学力・学習状況調査(児童・生徒質問紙の肯定的回答%)

質問項目		鳥取市	鳥取県	全国	全国比
家で、自分で計画を立てて勉強していますか。 (あてはまる・だいたいあてはまる)	小学6年生	63.3	61.8	58.9	+4.4
	中学3年生	46.2	46.2	44.5	+1.7
家で、学校の宿題をしていますか。 (あてはまる・だいたいあてはまる)	小学6年生	97.1	96.9	96.4	+0.7
	中学3年生	91.8	89.5	86.8	+5.0

鳥取市の子どもたちは・・・

自分で計画的に学習に取り組める

やらなくてはいけないことがきちんとできる

鳥取市の子どもたちの地域との関わり

平成25年度全国学力・学習状況調査(児童・生徒質問紙の肯定的回答%)

質問項目		鳥取市	鳥取県	全国	全国比
今住んでいる地域の行事に参加していますか。 (あてはまる・だいたいあてはまる)	小学6年生	79.8	79.1	63.9	+15.9
	中学3年生	45.1	48.7	41.6	+3.5
地域や社会をよくするために何をすべきかがありますか。 (あてはまる・だいたいあてはまる)	小学6年生	34.8	37.3	38.6	-3.5
	中学3年生	23.3	23.7	26.8	-3.8
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。 (あてはまる・だいたいあてはまる)	小学6年生	95.0	94.3	93.6	+1.4
	中学3年生	94.4	93.6	93.3	+1.1

地域との関わりでは……

- ①中学生になると急激に地域行事に参加しなくなる。
- ②地域行事には参加しているものの、地域をよくするためにできることを考える子どもたちが少ない。

現在学校では・・・

小学校で、縦割りの活動を多く取り入れており、学級委員、児童会の復活を模索している学校もある。



自治力の育成

子どもの育ちを考える



地域・保護者との協働